



大会アンケート

<黒澤いつきさんの講演感想>

●なんだかよく分からないままに、動かされていくような気持ちの悪さを感じていたこの数年でした。いつか来た道、きな臭さを感じながらも、安倍政権のおかしさを確実に伝えられる言葉を持っていませんでしたが、本日の黒澤弁護士の明確でかつ分かりやすいお話で、理解がなんとか追いつき、北朝鮮の恐怖をあおって核配備まで実現させたい、トランプ-安倍政権のもくろみの根本がよく分かりました。やっぱり個人の尊厳性が脅かされないということが憲法で保障されている社会が大元であるし、そういう社会の創造を目指すということを自らの人生の背骨として生きてきたし、これからもそのように生きていくという意を強くすることができました。ありがとうございました。(市外)

●安倍政権の4年間は立憲主義を壊す政治だった。自民党改憲草案は何度も読んでいますが、現憲法と草案を読み比べて比較していただいたのでとても分かりやすかったです。(市内50代)

●熱のこもった話しぶりで、自民党の草案の問題点がよく分かりました。草案だけ読むと特になにも感じないでやり過ごしてしまう人が多いのではないかと思うと恐いです。「微力は無力ではない」という言葉が印象に残りました。

●憲法のことがよく分かり、また改憲草案の問題点もよく説明してもらってよかった。力強いメッセージをもらった。(市内60代)

〈分科会〉

第2分科会 高齢期と社会保障

●講義のあとで、介護の話を皆さんでしましたが、医療や介護も切り捨てられていき、要支援で受けられていたものがなくなり、要介護3以上でないと受けられない。私たちのこれからの老後が不安です。(市内50代)

●母親大会を43年も続けてきたと言うことは、すごいことですね。子どもたちを核戦争から守るという一心で始められた活動は、本当に草の根で命の尊厳を訴えてきたのです。私は辺野古の現状聞きました。考えること大でした。自分でできることを引き続き活動していきます。(市外)

第3分科会 私たちの暮らしと平和辺野古の今…

●戦後70年経過しているにもかかわらず、昔から何一つ変わっていないことに涙しました。私は沖縄で直接戦争を体験し、ゼロからのスタート、今贅沢すぎるほど、日本は様変わりし、この変化のスピードに気持ちがついて行けません。悔しさ、悲しさ、怒り、複雑な気持ちで79才の年を過ごしています。沖縄は薩摩の侵攻、戦争と外部からの苦しみに耐え、貧困と失業、子たくさん、数えれば今もって日本一です。おかげさまで観光化され、ああこれでよかったかな？と一心あります。表面ではなく、沖縄の心を見ていただきたい。(70代)

●斎藤さんのお話心に響きました。知っていると思っただけだったことも、多くお聞きできて本当によかったです。(市外80代)

●沖縄の現状について臨場感あふれるお話が聞いてよかったです。琉球王国が400年もの間、武器を持たずにあったということなどもっと知られてよいことだと思いました。また久米島出身の方の戦争体験は心に重く残るものでした。沖縄の人たちのように諦めず、明るく闘っていきたいと思います。

